

# 2022年3月期 第2四半期決算説明資料

2021年11月1日

日本システムウェア株式会社

取締役 執行役員常務 須賀 譲

# 1. 第2四半期決算概況

## ■ 上期ベースで過去最高

売上高

**20,548** 百万円

前年同期比

**+15.8** %

営業利益(率)

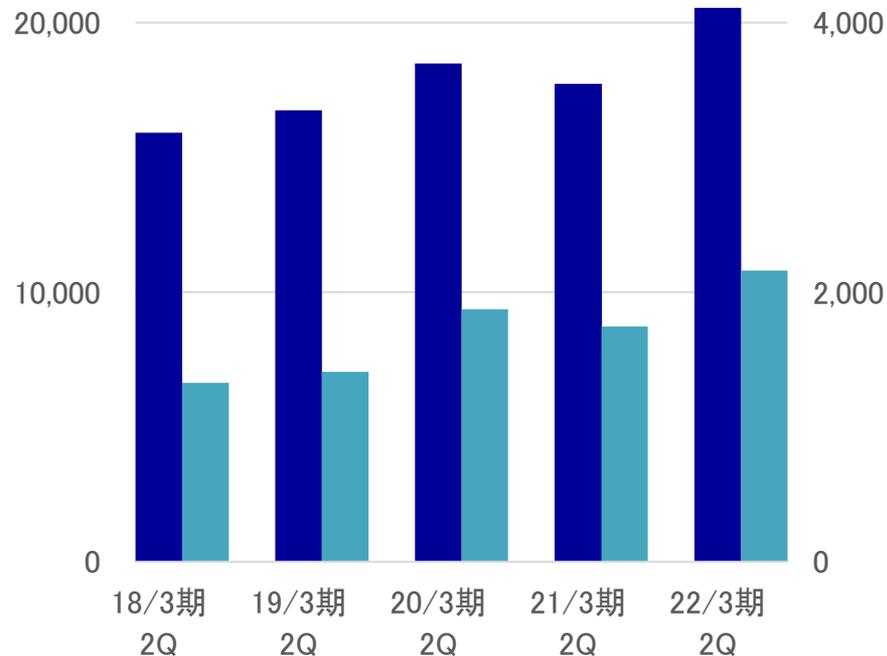
**2,161** 百万円  
(**10.5** %)

前年同期比

**+23.9** %  
(**+0.7p**)

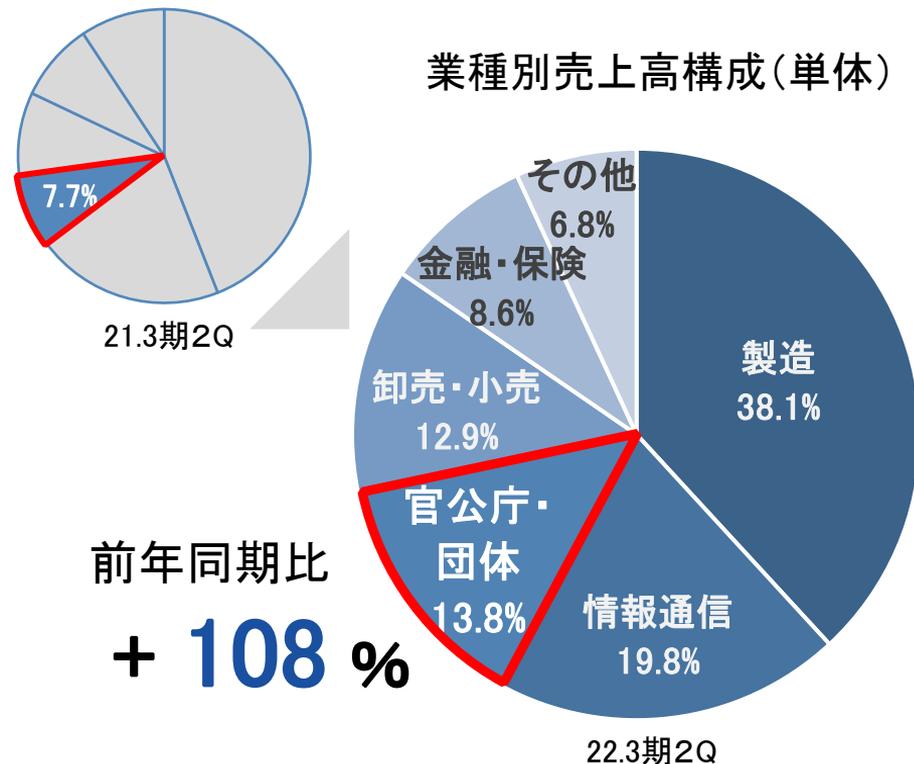
第2四半期(累計)業績推移

■ 売上高(左軸) ■ 営業利益(右軸)



## ■ 国や自治体の補助金申請システム案件を複数受注 上期業績に大きく貢献

ものづくり補助金申請システムを  
手掛けた実績とノウハウを活かし、  
各種補助金申請システムに横展開



# 連結業績 ware By Systemware

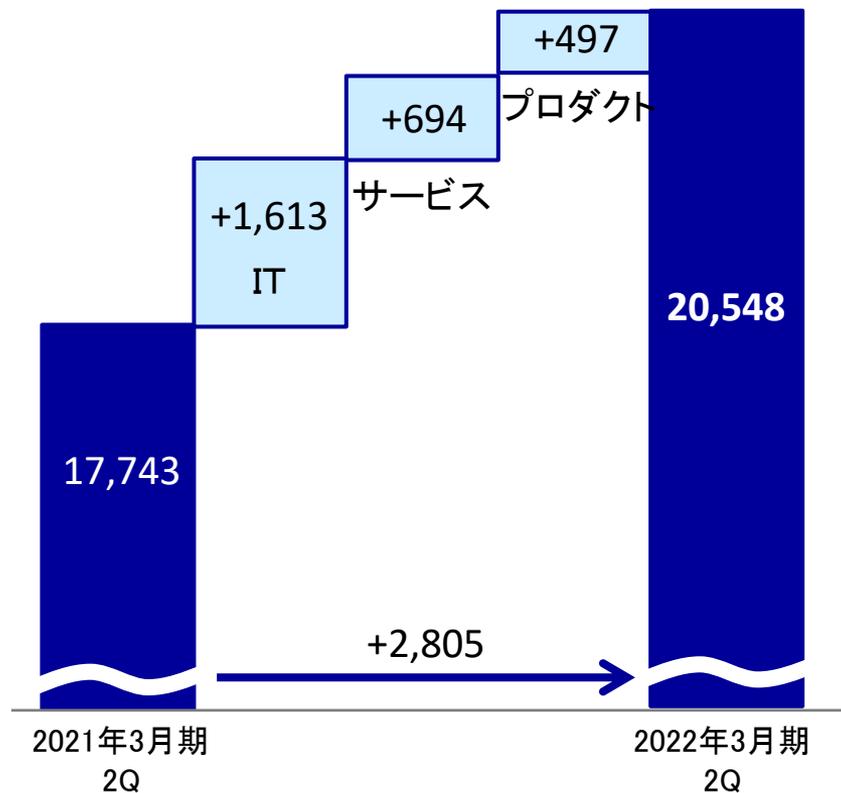
(単位:百万円)

	2022年3月期 2Q実績	計画比		前年同期比		2022年3月期 2Q計画	2021年3月期 2Q実績
		増減額	増減率	増減額	増減率		
売上高	<b>20,548</b>	+1,348	+7.0%	+2,805	+15.8%	19,200	17,743
営業利益	<b>2,161</b>	+361	+20.1%	+416	+23.9%	1,800	1,745
同率	<b>10.5%</b>	+1.1p	/	+0.7p	/	9.4%	9.8%
経常利益	<b>2,187</b>	+367	+20.2%	+426	+24.2%	1,820	1,761
同率	<b>10.6%</b>	+1.1p	/	+0.7p	/	9.5%	9.9%
当期純利益	<b>1,493</b>	+243	+19.4%	+376	+33.6%	1,250	1,117
同率	<b>7.3%</b>	+0.8p	/	+1.0p	/	6.5%	6.3%
受注高	<b>20,011</b>	/		+1,594	+8.7%	/	
受注残高	<b>14,794</b>			△559	△3.6%		

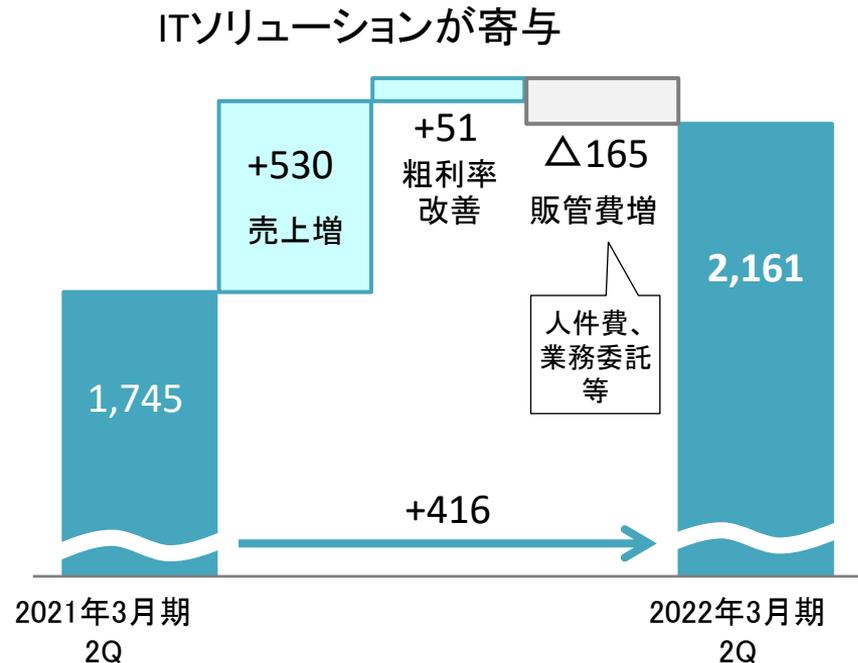
# 売上高・利益の増減要因(前年同期比)

(単位:百万円)

## ● 売上高



## ● 営業利益



# ITソリューションセグメント 概況(1)

(単位:百万円)

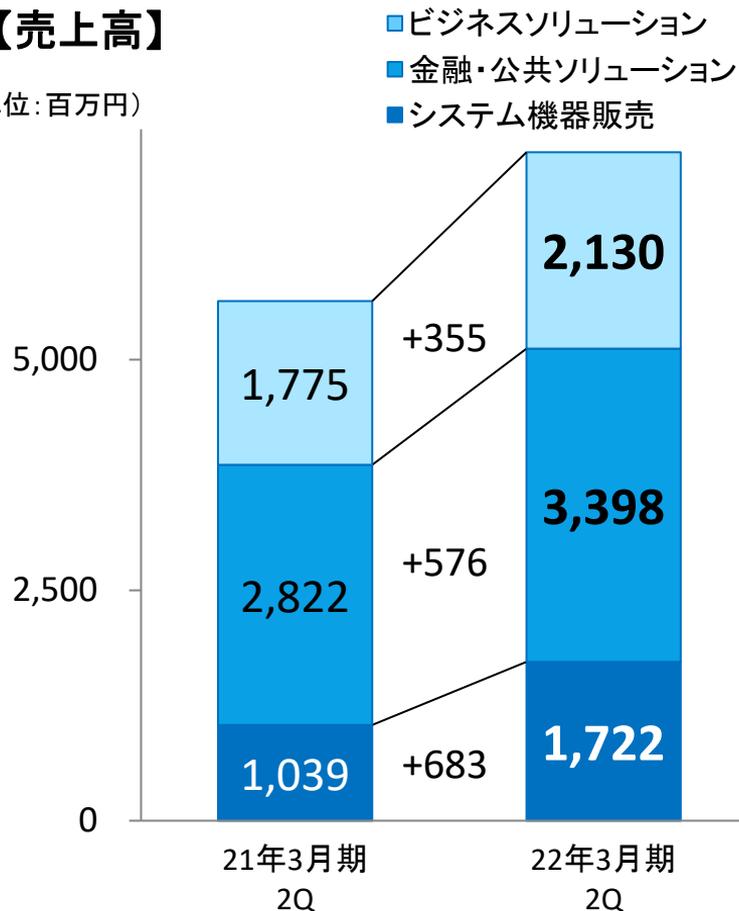
	2022年3月期 2Q実績	計画比		前年同期比		計画	2021年3月期 2Q実績
		増減額	増減率	増減額	増減率		
売上高	7,251	+1,051	+17.0%	+1,613	+28.6%	6,200	5,637
ビジネスソリューション	2,130	/		+355	+20.0%	/	
金融・公共ソリューション	3,398			+576	+20.4%		
システム機器販売	1,722			+683	+65.7%		
営業利益	901	+402	+80.3%	+502	+125.4%	500	399
同率	12.4%	+4.3p	/		+5.3p	8.1%	7.1%
受注高	6,432	/			+650	+11.2%	/
受注残高	5,242			△1,085	△17.1%	6,327	

- 売上は、官公庁・団体向けシステム開発や小売業向け機器販売が堅調推移し、増収
- 利益は、増収に伴う利益増のほか、高収益案件が寄与し、増益

# ITソリューションセグメント 概況(2)

## 【売上高】

(単位:百万円)



### 【ビジネスソリューション】

- 小売業向け  
既存顧客案件の深耕により店舗系システムを中心に増加
- 製造業・物流業向け  
既存領域の深耕。昨年取り扱いを開始したERPの商談が活性化

### 【金融・公共ソリューション】

- 官公庁・団体向け  
補助金申請システム案件や、既存顧客案件の拡大等により増加
- 金融・保険業向け  
生損保系既存顧客の深耕により増加

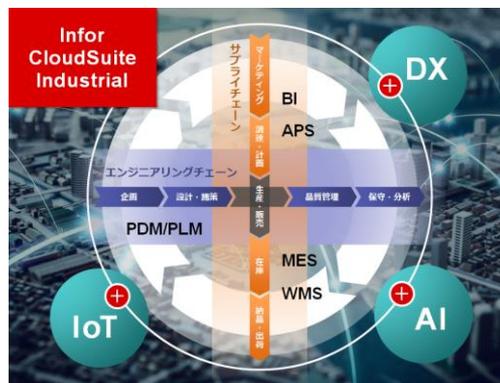
### 【システム機器販売】

- 小売業向けのセミセルフレジ・POS関連が増加

# ITソリューションセグメント 概況(3)

## ■ 製造業向けERPパッケージ「Infor CloudSuite Industrial」

- エンジニアリングチェーン(PDM、PLM)の知見と実績を活かした導入支援
- AIによる最適化サービスなど、DXを支える仕組みも提供



## ■ 10/18、財務会計・人事給与パッケージ「SuperStream-NX」の提供開始



製造業のお客様のほぼ全ての業務領域で  
当社ソリューションを組み合わせたトータル提案が可能に

# サービスソリューションセグメント 概況(1)

(単位:百万円)

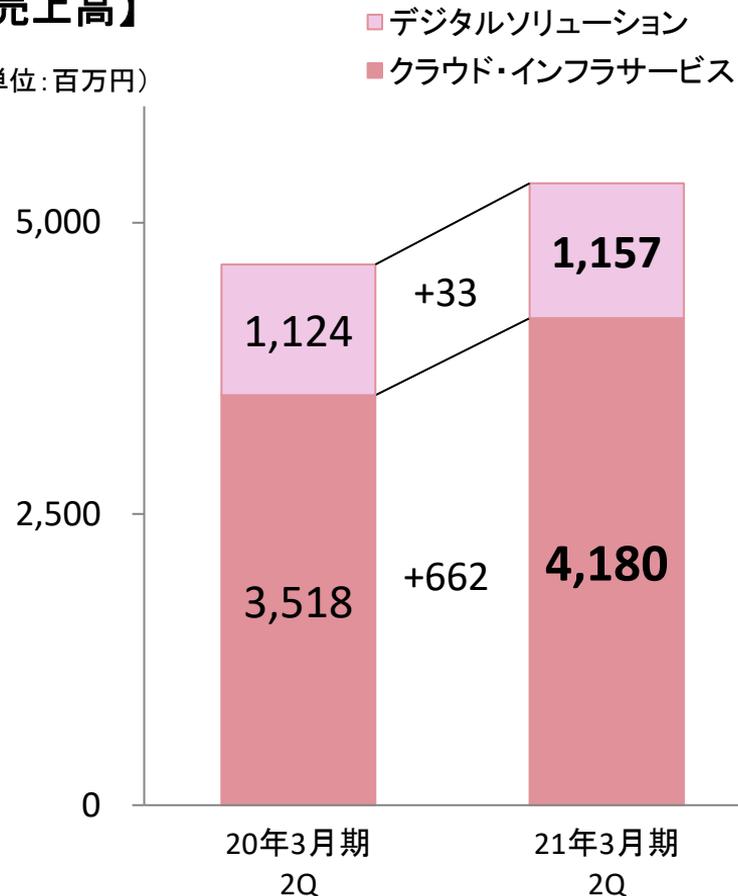
	2022年3月期 2Q実績	計画比		前年同期比		計画	2021年3月期 2Q実績
		増減額	増減率	増減額	増減率		
売上高	5,337	+237	+4.7%	+694	+15.0%	5,100	4,643
デジタルソリューション	1,157	/		+33	+2.9%	/	
クラウド・インフラサービス	4,180			+662	+18.8%		
営業利益	153	△96	△38.7%	△71	△31.8%	250	224
同率	2.9%	△2.0p	/		△1.9p	4.9%	4.8%
受注高	5,285	/			+436	+9.0%	/
受注残高	4,936			+200	+4.2%	4,736	

- 売上は、クラウド環境構築サービス、BPOサービスなどが増加し、増収
- 利益は、事業拡大に向けた体制強化のほか、一部の低採算案件の影響などにより、減益

# サービスソリューションセグメント 概況(2)

## 【売上高】

(単位:百万円)



### 【デジタルソリューション】

- IoT・AI  
IoT関連のライセンス販売が増加。  
一部低採算案件の対応により機会損失発生
- WEB・EC  
既存顧客向け案件深耕。一部案件の下期  
スライド影響をカバーし事業規模維持

### 【クラウド・インフラサービス】

- クラウド  
パブリッククラウド移行案件を中心に拡大
- インフラ・DC  
インフラ構築案件などが堅調推移
- その他サービス  
データ連携やBPOサービスが増加

# サービスソリューションセグメント 概況(3)

## ■ 8/6、広和システム株式会社を子会社化

- 各種プラントオートメーションシステム、ファクトリーオートメーションシステムの監視・制御システムの設計・開発
- 川崎市(登戸)、東京都日野市

OT(Operational Technology:制御技術)領域に関する同社のノウハウを融合し、製造現場のシステム化に求められる幅広い領域への対応を目指す。



- PTCと建設業界のデジタルツイン構築と新しいビジネスモデルの支援に向けて協業
- 竹中工務店とスマートグラスを用いた業務デジタル化の効果を検証

デジタルツイン環境を提供するとともに、建設業界における施設・建物の維持、保守業務など、継続した収益を見込む新しいビジネスモデルの構築を支援。

# プロダクトソリューションセグメント 概況(1)

(単位:百万円)

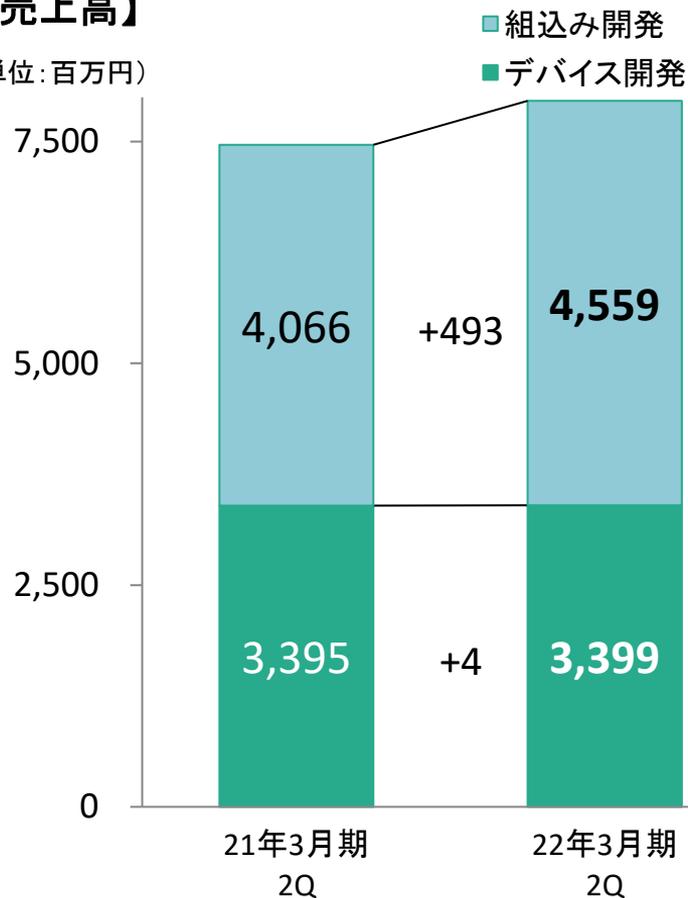
	2022年3月期 2Q実績	計画比		前年同期比		計画	2021年3月期 2Q実績
		増減額	増減率	増減額	増減率		
売上高	7,959	+59	+0.8%	+497	+6.7%	7,900	7,462
組込み開発	4,559	/		+493	+12.1%	/	
デバイス開発	3,399			+4	+0.1%		
営業利益	1,107	+57	+5.4%	△13	△1.2%	1,050	1,120
同率	13.9%	+0.6p	/	△1.1p	/	13.3%	15.0%
受注高	8,294	/		+510	+6.5%	/	
受注残高	4,615			+325	+7.6%		

- 売上は、組込み開発事業における通信分野や設備分野を中心に伸長し、増収
- 利益は、高水準を維持しながらも、前期の高収益案件の反動等の影響により、横ばい

# プロダクトソリューションセグメント 概況(2)

## 【売上高】

(単位:百万円)



### 【組込み開発】

- 設備機器  
装置系の次機種開発や決済端末関連が伸長
- 通信  
5G/ローカル5G、次世代通信関連の開発・評価業務が拡大
- オートモーティブ  
CASE、ADAS、モビリティ関連など新領域は増加も、IVI関連の既存領域が減少
- モバイル  
キャリア向けアプリ開発などが増加

### 【デバイス開発】

世界的な半導体供給不足はあるものの、LSIの設計・開発は堅調に推移

※CASE : Connected(コネクテッド)、Autonomous(自動化)、Shared(シェアリング)、Electric(電動化)の4つの頭文字をとった車の次世代技術や新サービスの造語  
※ADAS(Advanced driver- assistance systems): 先進運転支援システム。車の衝突検知や位置判定などドライバーの運転操作を支援するシステムの総称。

# プロダクトソリューションセグメント 概況(3)

## ■ シンクライアント型 電子マネー決済端末の開発

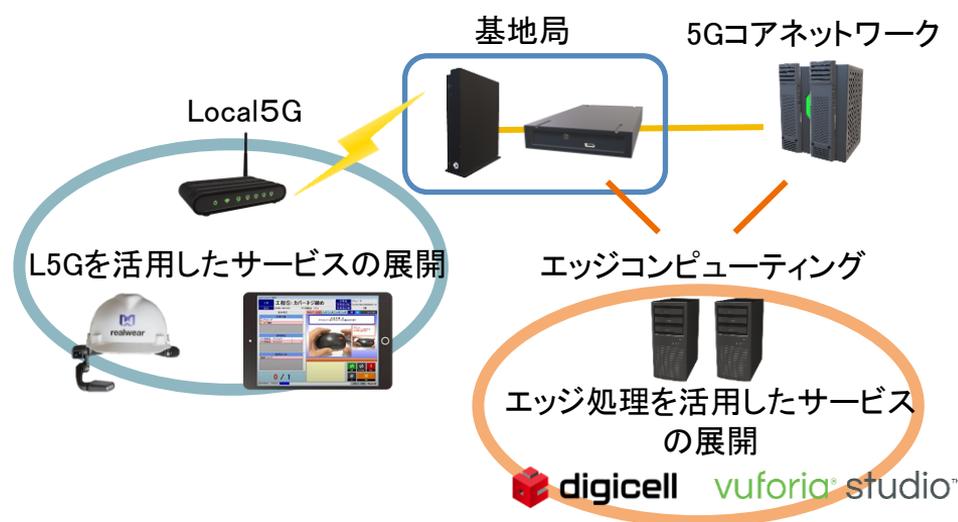


当社保有技術

- 交通/流通系  
電子マネー決済処理
- QRコード決済処理
- 自販機I/F(JVMA)通信処理

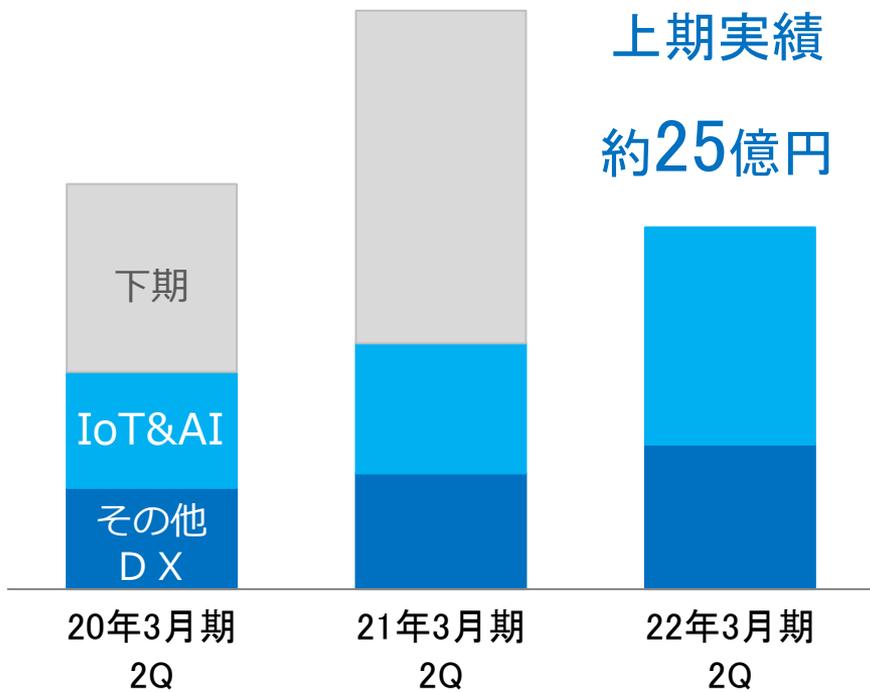
レベニューシェアモデルで開発に参画  
ストック型ビジネスとして期待

## ■ 5G/次世代通信領域の拡大 通信機器・設備系が伸長



今後は5G/L5Gを用いたサービス領域  
への展開も構想

## DX FIRST



### ポイント

- 上期は、クラウドサービスやデータ連携サービス、5G関連を中心に拡大
- 下期は、業種に特化したIoT/AI関連サービス拡充、およびローカル5G関連の強化により拡大加速を目指す

Humanware By Systemware

## 2. 通期業績予想

# 連結業績予想

By Systemware

(単位:百万円)

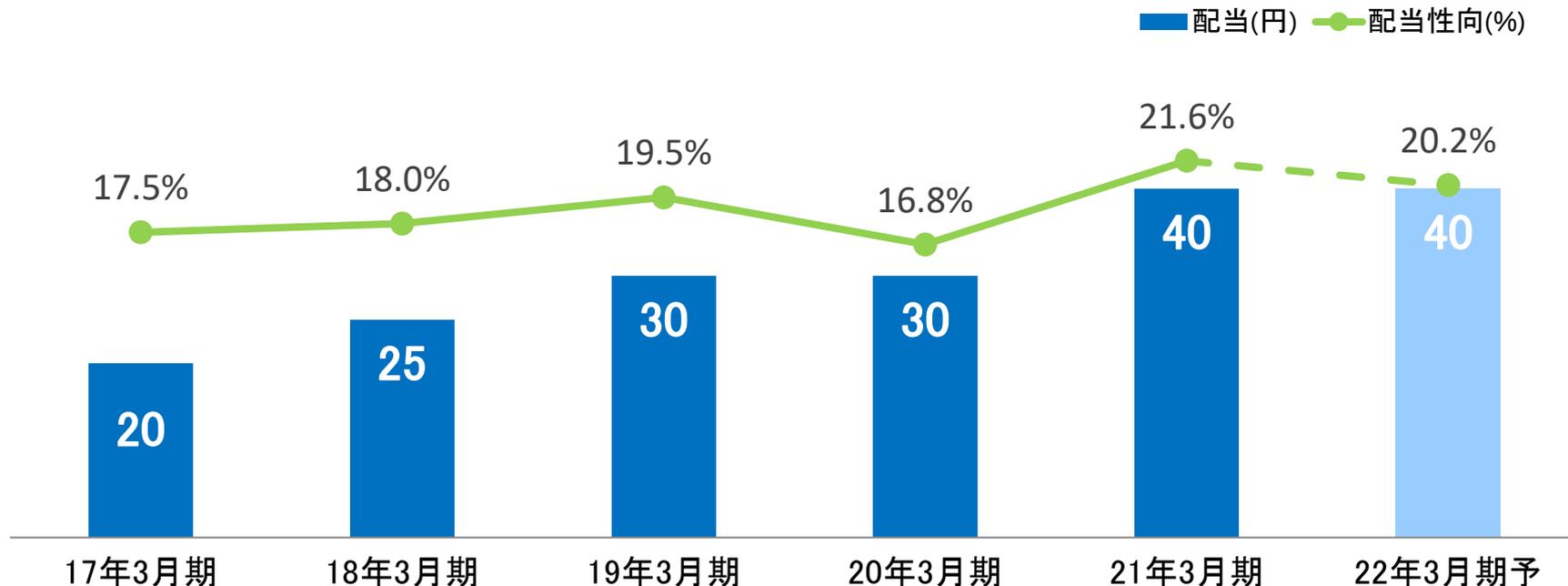
	2022年 3月期下期 期初計画	前年同期比		2022年 3月期 通期計画	前年同期比		2021年 3月期 実績
		増減額	増減率		増減額	増減率	
売上高	22,800	+1,260	+5.9%	42,000	+2,718	+6.9%	39,282
営業利益	2,500	+47	+1.9%	4,300	+102	+2.4%	4,197
同率	11.0%	△0.4p		10.2%	△0.5p		10.7%
経常利益	2,520	+40	+1.6%	4,340	+100	+2.4%	4,240
同率	11.1%	△0.4p		10.3%	△0.5p		10.8%
当期純利益	1,700	+52	+3.2%	2,950	+185	+6.7%	2,765
同率	7.5%	△0.1p		7.0%	+0.1p		7.0%

# セグメント別業績予想

(単位:百万円)

		2022年 3月期下期 期初計画	前年同期比		2022年 3月期 通期計画	前年同期比		2021年 3月期 実績
			増減額	増減率		増減額	増減率	
IT ソリューション	売上高	8,000	+434	+5.7%	14,200	+998	+7.6%	13,202
	営業利益	900	+2	+0.2%	1,400	+102	+7.8%	1,298
	同率	11.3%	△0.6p		9.9%	+0.1p		9.8%
サービス ソリューション	売上高	6,200	+462	+8.1%	11,300	+920	+8.9%	10,380
	営業利益	400	+60	+17.7%	650	+86	+15.2%	564
	同率	6.5%	+0.6p		5.8%	+0.4p		5.4%
プロダクト ソリューション	売上高	8,600	+363	+4.4%	16,500	+801	+5.1%	15,699
	営業利益	1,200	△14	△1.2%	2,250	△85	△3.7%	2,335
	同率	14.0%	△0.7p		13.6%	△0.7p		14.9%

### 一株あたり配当金・連結配当性向の推移



財務状況および業績に応じた安定的かつ継続的な配当を実施

# 新市場区分について

本日の取締役会にて「プライム市場」を選択申請することを決議

	項目	基準	適合状況
プライム市場	株主数	800人以上	○
	流通株式数	2万単位以上	○
	流通株式時価総額	100億円以上	○
	流通株式比率	35%以上	○
	1日平均売買代金	0.2億円以上	○

引き続き、ガバナンス強化と情報発信の充実を図るとともに、持続的な企業成長とさらなる企業価値の向上に取り組んでまいります。

# SDGsにつながる当社の取り組み

## データセンターサービス

万全なセキュリティ対策で24時間365日、安心安全なサービスを提供。



## 「NSW-MaaSプラットフォーム」 クローラー型モビリティロボット「UNiBO」 簡易動態管理「GUIDE LINER Lite」



## ひび割れ図化システム「CMS」 ひび割れ判定AIソリューション 「CrackVision」



## 5G／ローカル5G

5G活用による公共インフラの効率的な運営が環境に配慮したスマートシティの実現に。

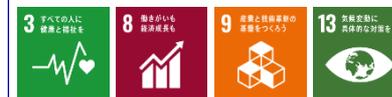


## 熱中症・感染症予防サービス 「Around Now！」

オフィスや現場の環境作りをサポート。



## 冷蔵・冷凍倉庫向け入出庫在庫管理システム「ORBIS-VI 冷蔵倉庫」 IoT温度管理ソリューション「Temptime」



## 産業用スマートグラス「RealWear」

100%ハンズフリーを実現し現場作業をより安全、効果的に。人手不足などの課題も解決。



## スマートごみ箱「BigBelly Solar」

太陽光ソーラーパネルによる発電により、CO2を排出せず環境にやさしい構造。



## 電子棚札ソリューション

無線通信技術と電子ペーパーの活用により、省人化対応とオペレーション効率化を実現。



**NSW**

**Humanware By Systemware**